

松永塾だより

2020-5-26 NO.1

新型コロナの感染拡大のなかで、4月以降すべての活動が休止に追い込まれました。5月22日に役員会を開いて、4月の総会での提案に基づく今後の活動について協議し、下記のとおり確認しました。皆様のご協力をおねがいします。

夏まつりは中止します

8月9日に予定していた夏まつりについては、関係諸団体のみなさんのご意見もお伺いしました。緊急事態宣言は解除されたとはいえ、第二波の可能性が指摘されていること、仮に実施したとしても消毒体制や3密対策などの負担が増えること、小浜の花火や大火勢も中止、中名田でも夏まつりを中止ときめているなど、地域での対応も考慮し、今年度は残念ながら中止といたします。

来年は楽しい夏まつりができることを祈りたいです。



松くんパネル つくります

松永のゆるキャラ「松くん」子どもたちに大人気です。松永を訪れた人達の記念写真にも役立てようと、顔だしパネルをJA青壮年部と協力してつくります。

6月3日に関係者の会議をひらきます。絵心のある方、ご協力ください。

新型コロナの動向をみながら、下記の活動を秋以降に実施できるよう準備をすすめます。

松永の歴史を学ぶ講座

松永は古くから開かれた歴史のある地区です。奈良時代の国府があったのは松永という説もあります。若狭郡県誌などの古い書物に松永の記述が多くみられます。二つの王統が覇権を争った南北朝時代には、南朝方によって松永の村が焼き打ちにあったとか、明通寺の衆徒が戦ったなどの記載もあります。

学校で習った歴史的な出来事が松永ではどのように展開されていたのでしょうか。

東市場の岸部さんのご協力で「松永歴史講座」を開く予定です。楽しみにしてください。

ふるさとの山河を 歩こう会

松永の四季折々は自慢の風景です。ゆっくりとふるさとの山河を歩いてみようと思えます。

上野のトンネルの上から明通寺の上まで尾根づたいに調査のトレイル歩きをしました。中ほどが茶臼山です。山城があったと伝えられています。ちょうど南北朝の争いのころです。保育園横から門前の鮫ヶ井橋まで尾根歩きもできます。秋には歩こう会で松永の山河をめぐる予定です。

松永カルタ大会、手前みそづくりは冬に

恒例の松永かるた大会は子ども会などの協力得て、来年1月に開催の予定で準備をすすめます。

今年度の新規企画であった「手前みそ」づくりは、来年2月開催を目安に関係者との協議をすすめます。かつて、各家で味そをつくのが冬の風物詩でした。自分の家の味そが一番と自慢しあったことが「手前みそ」の語源だそうです。